

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 成人脊柱変形患者に対する矯正固定術後の日常生活動作障害に関する研究
	研究の対象 2010年1月～2021年12月に当院で成人脊柱変形の治療を受けられた方
	研究の目的 成人の脊柱変形では歩行障害バランス障害のため歩行が困難であると訴える患者が多くみられます。矯正固定手術の目標は、脊柱・骨盤を適切なアライメントに改善して固定することで健康関連 QOL（生活の質）の向上を考えています。しかし、脊柱骨盤が固定されるために前屈が困難となるため、前屈を伴う日常生活動作に不具合も生じます。そこで今回矯正固定術後に生じた日常生活動作の支障が、健康関連 QOL および治療満足度に与える影響を明らかにすることを目的とします。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2025 年 3 月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、BMI、併存疾患、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、レントゲン画像、日本整形外科学会腰痛疾患治療成績判定基準、ODI、SRS-22r、SRS-30 アンケー

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	ト調査票など
利用する者の範囲	機関名および責任者名 浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター 有馬秀幸
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター 有馬秀幸
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>部署名： 次世代創造医工情報教育センター</p> <p>担当者： 有馬秀幸</p> <p>TEL： 053-435-2299(整形外科)(平日8:30 ~17:00) 053-435-2700(整形外科・6西病棟)(夜 間・休日)</p>
--	--